

- ◇本庁舎 八幡小路7-1
☎② 1111/Fax ⑦ 2577
- ◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2
☎③ 2111/Fax ③ 2234
- ◇大信庁舎 大信増見字北田58
☎④ 2111/Fax ④ 2409
- ◇東庁舎 東釜子字殿田表50
☎④ 2111/Fax ④ 3584

第20回中山義秀文学賞公開選考会

◀昨年の選考会の様子



節目の受賞作品を選考

中山義秀文学賞は今年で、第20回目の節目を迎えます。選考会は、文学賞としては全国で唯一公開で行われ、来場者が見守る中、最終選考に残った右の3作品を4人の選考委員が論評し、受賞作品を決定します。目の前で繰り広げられる選考の様子と、栄えある受賞作品決定の瞬間を、ぜひ会場でご覧ください。

- 日 時 11月22日(土)午後1時から
- 会 場 市立図書館りぶらん多目的ホール (道場小路)
- 入 場 料 無料
- 選考委員 作家の津本陽さん、竹田真砂子さん、安部龍太郎さん、文芸評論家の縄田一男さん

☎中山義秀顕彰会事務局 ☎④ 3614

■「雪に咲く」 村木 嵐 著 (PHP研究所)

御家騒動を起こした大悪人として知られる小栗美作。越後高田藩主・松平光長に仕え、後に筆頭家老になった美作に、次々と降りかかる難題。藩を守るため、一人立ち上がった男の壮絶な生涯を描く。美作のイメージを根底から覆す衝撃作。



■「峠越え」 伊東 潤 著 (講談社)

幼き頃より人質暮らし。一国一城の主となるも信長支配下の忍従の日々。信長、死す一。遠き京洛の地より、伊賀の山々を越え、生還せよ。家康の人生最悪の危機は、最大の転機でもあった。家康こそが天下人たりえた真の理由とは。



■「缸、つどうべし」 笠岡かおる 著 (幻冬舎)

歴史に残る長期籠城戦“干し殺し”。黒田官兵衛の送り込んだ女間者・希久が、キリシタン信仰で開城への調略を進め、やがて城主別所長治との出会いで、思いもかけない命のドラマをつむぎだす。滅ぶとわかってなぜ戦い、なぜ愛するのか。



中心市街地活性化事業～ソフト事業～/利用者の声⑩

Interviews 鈴木沙江子さん

一お店の紹介をお願いします。
季節のフルーツをふんだんに使った手作りのケーキとフランス伝統菓子の小さなお店です。一家賃補助を受けての感想は。
金銭面での負担が軽くなったおかげで、心にもゆとりができました。
▷営業時間 10:30～18:30
▷定休日 火曜日・第2日曜日

☐Gateaux café LeCoeur



大手町10-4 ☎② 7718

- ①一番のおすすめはモンブラン (写真中央)。甘さを抑えた栗ペーストの中にクリームがたっぷり入っています。
- ②「1日に出せる種類は少ないのですが、メニューを変えて色々な種類を提供していきます。季節のタルトもぜひご賞味ください」と鈴木さん。

中心市街地の空き店舗に出店する事業者にも、家賃の一部(月額最大25万円)を補助します。詳しくはお問い合わせください。
●申し込み・問い合わせ先
白河商工会議所 ☎③ 3101

中心市街地 空き店舗対策事業